



和光大学 現代人間学部  
大学院 発達教育臨床論コース  
岩本 陽児 准教授

和光大学への着任が決まったとき、英国暮らし十年目だった私の頭の中で膨らんだ妄想は、「昔ながらの豆腐屋、古本屋、銭湯がある街で、路地裏の築四十年の木造家屋に暮らす！ 住み慣れた、煉瓦づくりの家よサヨウナラ」だった。濡れ縁、うちわ、ブタの蚊取り線香。なんと素敵なジャポネスクであろうか。しかし……

「東京で今どきそんな贅沢な」  
私のささやかな願望は、当時、町田を知らなかった家人に一蹴されてしまったのである。

結局のところ私は、大学近くのコンクリートアパートに仮寓しているのだが、小田急電車に乗って出かける町田は楽しい。プラットホームの売店には、網袋入り「ゆでたまご」まで売っているではないか。流行歌になった冷凍みかんこそないが、旅情をそられる人がいるかもしれない。多分ないとは思いますが。

私のお気に入り、原町田の商店街だ。昔懐かしい個人経営の店が嬉しい。夏になるとメダカを売っている加藤米穀店の、つやつやしたママたち。見るからに健康的だ。仲見世アーケード、市川豆腐店のお豆腐は、みっしりと実直な味がいい。私は、普

段は木綿で夏は絹。そう、「なつはきぬ」なのである。「うのはな……」の古歌で、しかと歌われているではないか。

このお豆腐屋さんの奥に実は、知人ぞ知る昔のごみ箱がある。非公開だが、昭和三十年代のものだろうか。貴重な生活文化財だ。

アーケード入口には中国人が作る本場のショウロンポウ。口福なり。

大通り左手の白亜の建物は、ホテルと同居している中央図書館だ。図書館員のできばきした仕事ぶりが清々しい。しかも、壁面にPublic Libraryである道向こうからの眺めが、凛としていて、あたりを払うようで実に潔いのである。見ていて、「私も図書館になりたい！」と何度思ったことか。

週末に借りた本を、一気に読む。人生の快楽である。本の総額が一万円を超えていたりすると、ことさら気分が良い。ぜひお試しあれ。ちなみに、この図書館の「和室」には、碁・将棋のセットが備えてあるが、遊んでいる人は見たことがない。謎である。

最後は月初めの「天満宮骨董市」で締めくくろう。外国人女性の買出し隊で、早朝から賑わっている。しばらく前に見た甕は、どうみても真正正銘の「掘り出し物」だった。その後、見ないから、購入に及んだ好事家があったようだ。小さん落語「家見舞」を地で行く物語が生まれたのではと、想像をたくましくしている。

## 地域に飛び出せ 大学生

## ブリッジ BRIDGE



BRIDGE活動風景

**地域と学生をつなぐ 架け橋に……**

法政大学ボランティアサークル『BRIDGE』は、10名程のメンバーそれぞれがボランティア活動を行う傍ら、多くの学生に、ボランティアをはじめとした、社会とつながる経験をしてもらうためのネットワークづくりに励んでいる。

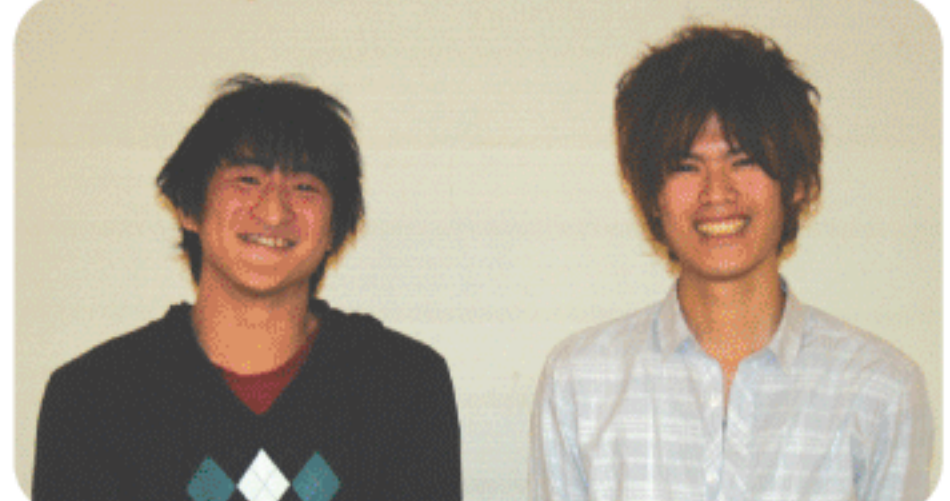
2006年秋、当時2年生の高井大輔さんが「大学にボランティアセンターを設置したい」という思いのもと、ボランティアに興味を持つ友人たちとこのサークルを立ち上げた。同年、この活動はソニーマーケティング株式会社の「学生ボランティアファンド対象事業」となり、本格的に動き出した。

「当初は、活動を知ってもらうことで精一杯でしたが、徐々に理解を得られるようになりました」というように、目標であったボランティアセンターの開設（2009年4月開設予定）に向け、他学生スタッフや大

学とともに準備に勤しんでいる。現在、『BRIDGE』は、センター開設準備のほか、大きく分けて3つの活動をしている。ひとつは、ボランティア講座・紹介、相談会を行う「ボランティアガイダンス」などのイベント実施。また、地元相原のお祭りへの出展や、大戸小学校の放課後活動に参加といった地域交流活動。さらに、ホームページや情報誌「Anchorage（アンカレッジ）」、メーリングリストを通じたボランティア情報の配信である。

『BRIDGE』とは架け橋の意味です。私たちが学生ボランティア活動の拠点となり、人や情報のネットワークを築けたらと思っています。また今後は、様々な分野の情報を集め、ボランティア活動に関わらず『何かしたい』と考えている学生にその思いを実現するチャンスを提供できるようにしていきたいです。」と現代表の五藤さんは語る。

●『BRIDGE』ではボランティア先の募集をしています。



初代表 高井大輔さん 現代表 五藤翔一郎さん  
(人間社会研究科 修士課程1年) (社会学部社会学科1年)

**BRIDGE**  
〒194-0298 町田市相原町4342  
法政大学 現代福祉学部 山岡研究室  
TEL/FAX : 042-783-2830  
E-mail : volunteer\_hosei@yahoo.co.jp  
URL : http://bridge.okoshi-yasu.net/